

各地で「裁判員裁判」に抗議!

各地連絡会より裁判員裁判への抗議行動の報告が届いている。特徴的なことは、候補者の半数近くが続々と辞退、裁判当日まで辞退・拒否が続いていることだ。始まった裁判はとても裁判とは言えない代物、廃止へ!の行動を強めよう。

■青森 9/2 ~ 9/4 (9/1 裁判員選任)

全国で3番目となる裁判員裁判が青森地裁で行われた。私たちは「現代の赤紙」だと賛同人に呼びかけて、1日、2日と全力で抗議行動をやり抜いた。地元の弁護士、仙台の弁護士、真宗大谷派の若いお坊さんも参加してくれた。積極的に廃止署名に応ずる人、討論の輪もできた。東京からも高山弁護士らがかけてくれた(原子)

■兵庫 9/7 ~ 9/9

7日、神戸地裁前で朝8時~10時までピラまき。関西での第1回目ということもあってかマスコミの関心が高く、新聞、テレビの取材が次々とあった。90人の候補者のうち42人の辞退が認められ、呼び出された48人の内6人が欠席=拒否したとのこと。(後藤)

■大阪 9/8 ~ 9/9

8日朝8時から大阪地裁4ヶ所の入り口でピラまき、宣伝カーも走らせた。東京から武内弁護士とインコがかけてくれ、地元の富崎弁護士もアピール。大阪府連絡会の呼びかけに、全国連西郡支部、関西労組交流センターの労働者など約40人も参加してくれた。この日に先立ち、大阪弁護士会の弁護士3000人にピラ入れも行った。(後藤)

■山口 9/8 ~ 9/9

8日、広島県連絡会と山口在住の仲間と9人で抗議活動を行った。朝8時から山口地裁前でピラまきアピール。人通りのあまりない町に異常と思える数のマスコミが集まり、候補者が来ると群がっていた。候補者のみなさんは一様に緊張した面もち、「できれば選ばれたくない」と言っていた。(谷口)

■埼玉 9/8 ~ 9/11

さいたま地裁での2回目の裁判員裁判に対し、「裁判員制度に反対する埼玉市民の会」のメンバー8名で、1回目を上回る気迫で情宣活動を展開した。

ピラを受け取った市民の中に「今日裁判員に呼び出されたが、拒否しました!」という女性が現れ、あと一步で、この制度を廃止できると確信した。(田中)

■福岡 9/9 ~ 9/11

9日、地裁前で2回の抗議活動を行った。「市民のための刑事弁護を共に追求する会」代表の渡邊弁護士がマイクで訴え、佐賀から参加した弁護士も交えたピラまきで1400枚配布。テントでの署名集めで60代の女性は「絶対反対。呼び出しがあっても自分はいかない。刑務所にだって入ってやる!」と怒っていた。(和田)

■千葉 9/14 ~ 9/18 (9/16は日程なし)

「裁判員制度はいらない!千葉県実行委員会」は14日朝8時から千葉地裁前で抗議行動。動労千葉、百万人署名運動、市民ネット、裁判員制度を考える会・松戸など約30名が参加。昼からは、植竹弁護士、吉川県議らを先頭に80名で千葉地裁包囲デモ。その後、千葉駅での情宣活動を行った。(武山)

■香川 9/15 ~ 9/17

15日、野田隆三郎さんや徳島・岡山の仲間と高松地裁前で抗議行動。裁判員候補者が少ないらしく、裁判所の職員は近くの交差点付近まで出向いて通行人一人ひとりに「裁判員の方ですか?」と尋ね回る有様だった。こんな制度、最初から破綻している!(高橋)

■三重 9/15 ~ 9/17

15日、「裁判員制度はいらない!大運動・東海連絡会」の仲間たちと、午前8時、まず最寄り駅の津新町駅でピラまき。受け取りは良く「私も反対だ。がんばって」と言ってくれる人もいた。9時からは津地裁前でピラまきアピール。さらに、愛知と三重の弁護士を先頭に20名で裁判員選任時間に合わせて津地裁包囲デモ、「裁判員を拒否しよう!」と呼びかけた。(加藤)

